

# 清和源氏発祥の地

兵庫県

川西市

川西市は、兵庫県の東南部に位置し、人口16万人弱の都市で、市域が東西に狭く南北に細長いのが特徴です。天禄元年（970）に「源満仲公」



清和源氏まつり 懐古行列

が、川西の地に多田院（現在の多田神社）を創建したことから本市は、「清和源氏発祥の地」と言われています。また、4月には源満仲公をはじめ、源氏ゆかりの武将など約350人が川西能勢口駅周辺を練り歩く懐古行列が開催されます。

建武3年（1336）

足利尊氏は九州多々良浜の合戦にあたり、源氏ゆかりの多田神社の由緒を伝え聞いて、これを崇敬したといわれています。川西市にある多田神社には、多くの古文書・宝物が残されていますが、そのうち建武3年3月25日付の尊氏戦捷祈願の御教書があります。

延文3年（1358）、

尊氏が没すると息子の義詮は、父尊氏の遺骨を多田院に納めました。歴代足利將軍の没後は、その分骨が納められるなど、多田院は足利氏より篤い崇敬を受け、栄えました。



多田神社御本殿

会員：川西市商工会、

川西市観光協会

## ■行事

- 4月第2日曜日 清和源氏まつり
- 8月第3土曜日 猪名川花火大会
- 10月第1土曜日 川西おもしろ能
- 11月第3土曜日 川西一庫アム周遊マラソン大会